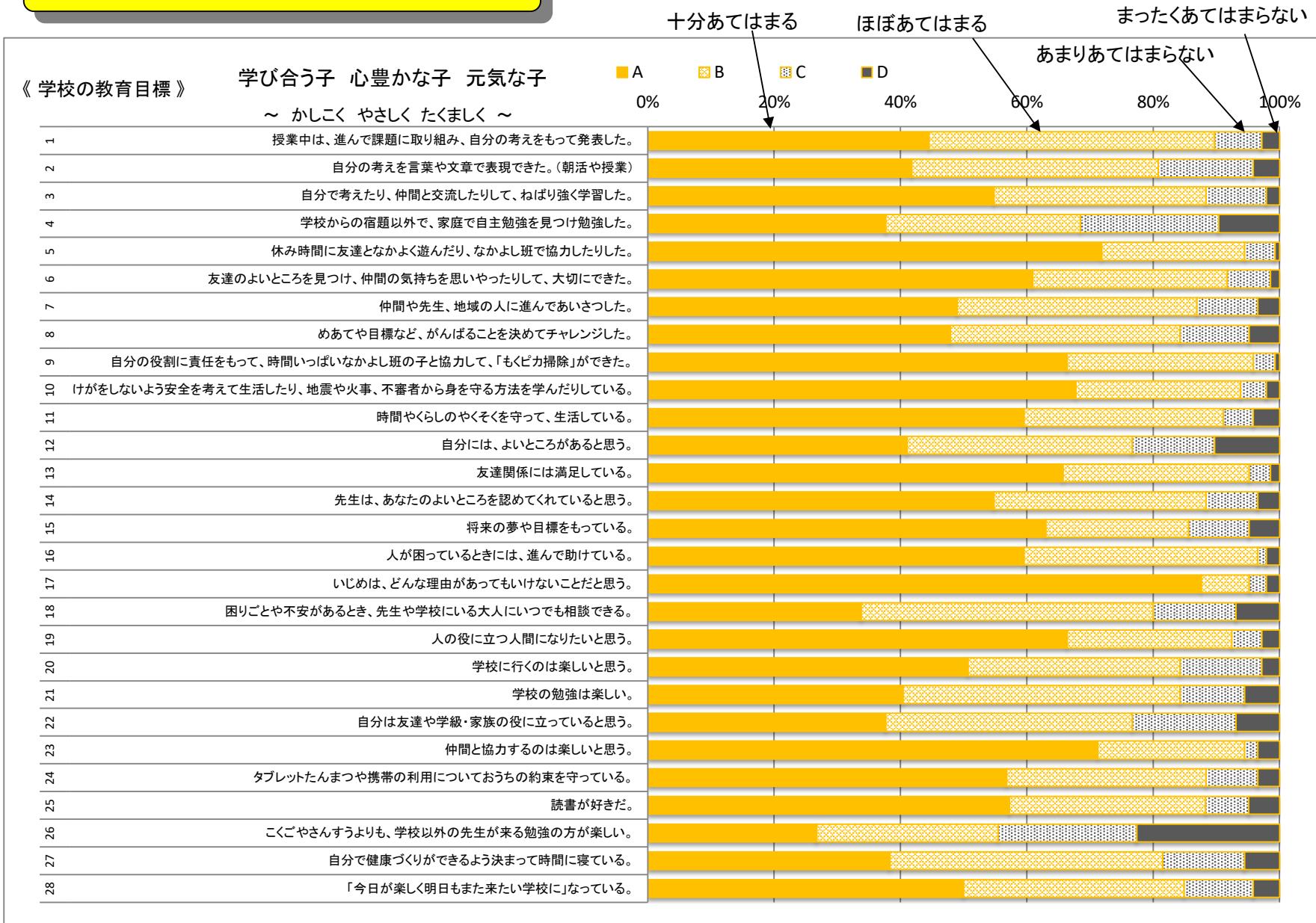


中小児童教育アンケート R7. 12 実施



全校児童で、12月までの学校生活を振り返るアンケート調査を実施しました。

◇【5.9.17.23】「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」は達成率が95%を超えました。教育活動全体を通じて、自他の生命がかけがえのないことや人を傷付ける行為は絶対許されないことなどについて、具体的な場面で繰り返し伝えてきました。今後も継続して行うとともに、思いやりの心を育み、よさを認め合う魅力ある学級・学校を目指していきます。また、クラスの仲間だけではなくなかよし班などの異学年交流を通して、仲間と協力して様々な活動ができるこのよさを実感している児童も多く、本校のよさだと感じます。今後もこのよさを伸ばすことができるよう活動の充実に心がけて参ります。

◆【12.22】「自分にはよいところがあると思う」「自分は友達や学級・家族の役に立っていると思う」という項目が残念ながら、前回よりも低い結果となりました。学校では、帰りの会のよさ見つけを継続して行ったり、「ひびき合い週間」でも学年の枠を越えてよさを伝えたりしてきました。しかし、仲間のよさを見付けられても、自分が家族や仲間にとてかけがえのない存在であることや自分のよさに気付けていない子もいるようです。今後、自己肯定感が高まるような声かけを学校と家庭・地域とが一体となって進めていきたいと考えています。

◆【26.4】後期に入り、様々な探究活動を取り入れてきました。どの学年でも目を輝かせながら自分の興味をもった活動に取り組むことが出来ました。今後は更に、それらの活動を家庭学習にもつなげられるよう、具体的に紹介していきます。